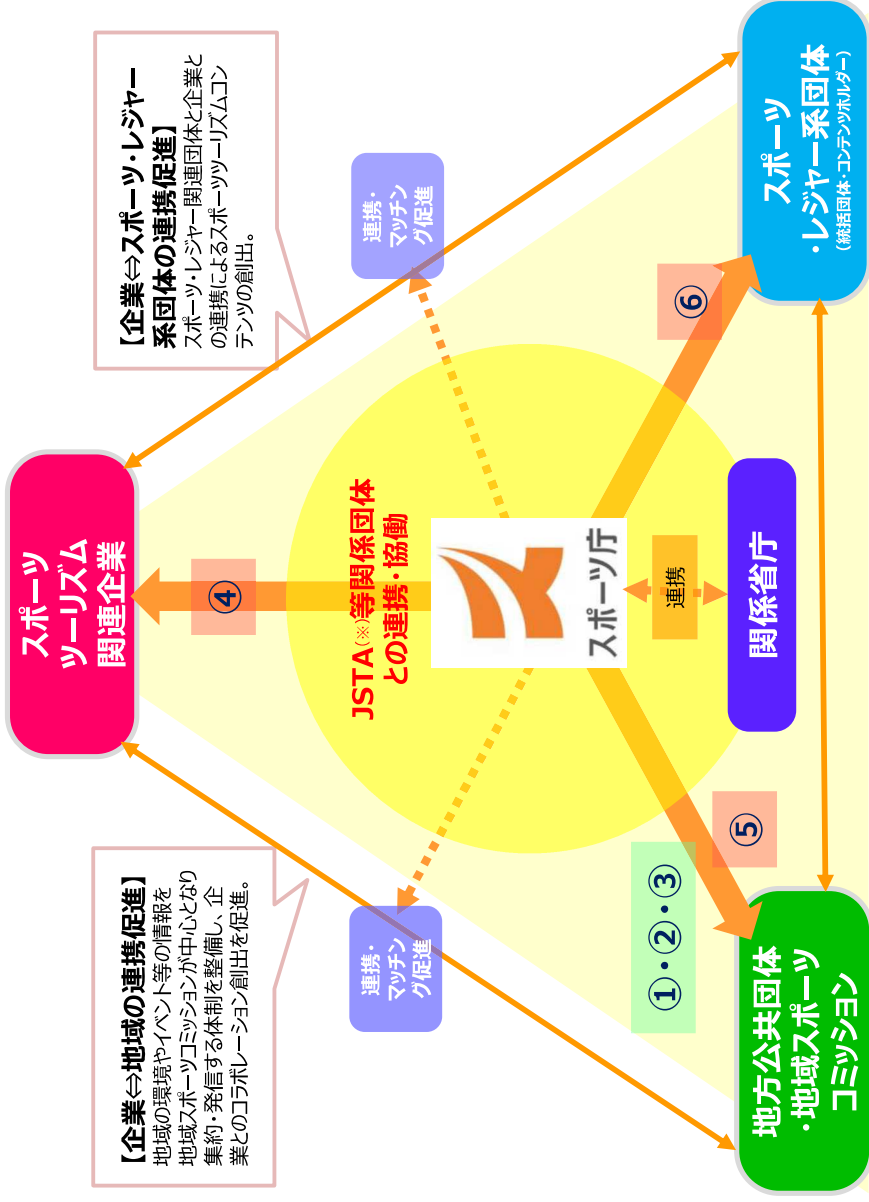


スポーツツーリズム需要拡大戦略【概略及び展開施策】

国内外からの交流人口拡大による地域活性化、幅広い関連産業の活性化のため、「地域の意識啓発及びコンテンツ開発・受入体制強化に向けた支援」、「国・企業・地域・団体等の連携強化」、「国内外に向けた官民連携プロモーション」の3軸で施策を展開し、スポーツツーリズムの需要喚起・定着化を図る。



【国内外に向けたプロモーション展開】

【国内・海外マーケット】

日本国内でのスポーツツーリズムへの関心喚起、来訪・体験意欲の拡大

スポーツツーリズムの需要拡大を目指し 展開する10の施策

◆地域の意識啓発及びコンテンツ開発・受入体制強化に向けた支援

- ① マーケティングデータや優良事例等の地方公共団体・事業者への提供による地域の意識啓発
- ② 支援事業の実施による地域の新たな取組の促進
- ③ スポーツアクティビティ拠点の国内外への発信による認知度向上

◆国・企業・地域・団体等の連携強化

- ④ スポーツツーリズム応援企業等のネットワーク化・マッチングの促進
- ⑤ 地域スポーツコミッションの増加と強化
- ⑥ スポーツ・レジャー系団体等のツーリズム意識啓発によるコンテンツ創出

◆需要拡大のための官民連携プロモーション

- ⑦ 日本のスポーツツーリズムの魅力を発信する映像の制作・発信
- ⑧ 省庁間連携による総合的な日本の魅力発信
- ⑨ 官民が一体となったデジタルプロモーション等の実施
- ⑩ 参加者自らが「誘う」、「発信する」仕組みづくり

(※) JSTA：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

スポーツツーリズム需要拡大戦略【新規重点テーマ】

スポーツツーリズムの需要拡大に向けた官民連携協議会での議論と、国内外の消費者を対象としたスポーツツーリズムに関わる動向やニーズについての調査では、課題やコンテンツの磨き上げの必要性は散見されるが、**日本の自然環境下で行う「アウトドアスポーツ」と「武道」の見学や体験は、日本の強みが活用でき、国内及び訪日個人旅行者の需要拡大に有望な分野であるとされたことから、従来より取り組まれているスポーツイベントの開催・誘致や、スポーツ合宿・キャンプの誘致に加え、この2つを新規重点テーマとして設定**する。

新規重点 テーマ①

【スポーツツーリズム】

スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイル。

- ・スポーツイベント（参加型・観戦型）の開催や誘致
- ・スポーツチーム・団体の合宿やキャンプの誘致
- ・プロスポーツ・トップチーム等の観戦による誘客

現在主流であるこれらの分野についても、引き続き拡大に向けて取り組む。

世界に誇る日本の自然資源を活用した

アウトドアスポーツツーリズム

（するスポーツ）

- ・「スノースポーツ」、「登山・ハイキング・トレッキング」、「ウォーキング」、「サイクリング」をはじめ、国内外問わず実施意向が高い。
- ・最高の環境が地方部にあるため、地方部への誘客に繋がる。
- ・雪質や里山等、日本特有の自然資源・環境には海外からも高い関心が寄せられ一部地域には既に多くの外国人が訪れている。
- ・スポーツ庁では2017年6月に『アウトドアスポーツ推進宣言』を発表。体力や年齢に関わらず、誰もが実施しやすいスポーツジャンルであるため、国内のスポーツ実施率向上にも寄与。



写真提供：長野県観光機構



写真提供：今治市

新規重点 テーマ②

世界の関心が高い日本発祥・特有の

武道ツーリズム

（みる・するスポーツ）

- ・「武道（柔道・空手・剣道など）」、「大相撲」は中国をはじめ各国で「みるスポーツ」としての意向が高い。
- ・空手をはじめ、武道は海外でも愛好者が多く、受入体制やコンテンツを整備することで、海外の愛好者・日本文化への関心が高い層に対し、発祥地である日本への関心・訪日意欲を喚起できる。
- ・スポーツ庁では2016年より文化庁、観光庁と連携し、スポーツと日本の文化芸術資源を融合させた「スポーツ文化ツーリズム」を推進。



写真提供：（公財）日本武道館